



実践型×他流試合形式ビジネスワークショップ[®] 2022

Innovative Leadership Challenge

－ 知の探索の旅に出かけ、異能与出会い、out-of-the-boxに挑戦する －

Business Accelerator


ICMG

Innovation Accelerator

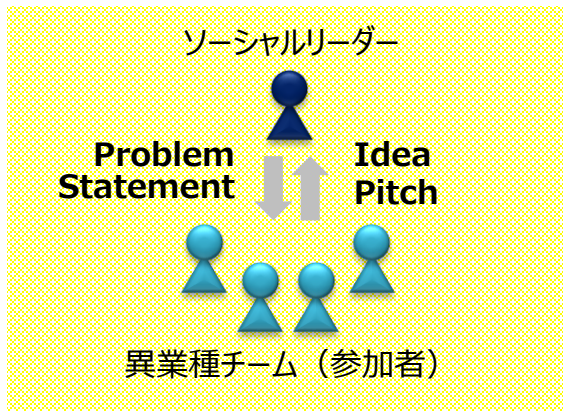

SUSTAINABLE LIVING LAB

プログラムの狙い

VUCA時代において、企業の持続的成長にはDiversityが不可欠であり、リーダーひとりひとりにも**Internal Diversity**と呼ばれる多面的な視座や価値観を有することが不可欠である。ただし、多くの場合、企業のラインでは多様な経験や価値観を獲得することは難しい。

本プログラムは、通常業務では出会わない**海外のソーシャルリーダーとの協働**を通じて、**知の探索の旅**に出かけ、**異能**と出会い、そのプロセスを通じて **out-of-the-box**への感度を高め、**企業の持続的成長を担うリーダー育成**の起点をつくる。

プログラムの設計



1. Step1 : 課題の提示

海外のソーシャルリーダーからProblem Statementを提示

2. Step2 : アイディエーション

異業種・異職種のメンバーで構成されたチームでアイデアを討議

3. Step3 : リアルな宛先へのピッチ

ソーシャルリーダー/スタートアップリーダーにピッチしてフィードバックを受ける

プログラムの特徴

1. 海外のソーシャルリーダーとの協働体験

リアルなプレーヤー（シンガポールをハブにしてアジアでイノベーションをアクセラレートするSL2）との協働体験を通じて、日常のルーティンから外れるきっかけをつくる

2. ビジネスアクセラレーターの実践智の体得

ビジネスアクセラレーターとの協働を通じて、イノベティブシンキングや価値創造についての実践智を体得する

3. 他社・他者とのアクションラーニングを通じた自らの「足らず」の自覚

約2か月の学習→実践→内省のサイクルと、異業種・異職種のチームメンバーとの議論を通じて、自らの足らずを知り「イノベーション×リーダーシップ」の観点から自己成長の課題を明確にする



※写真は2019年度の様子

過去の参加者の声（2019/2020年度）

- これまでにすることがない経験ばかりで、オンラインだからこそ新しいツールも沢山学べて、持ち帰りが多かった。
- 海外や国内の他社との共創の経験がなく、これからのキャリアとしてとても貴重な機会になった。
- イノベーションとは、決まったやり方があるわけではなく、フレームを使いながらもピボットして試行錯誤していくプロセスだと実感した。
- 仕事を離れてアイディエーションしたりする機会が持てて良かった。雰囲気よくディスカッションが出来、内省する良い機会になった。
- 発表形式に多くの差を感じた。自社：基本は文字、説明する内容はすべてスライドに記載。他社：見栄え/インパクト重視（資料は説明の補足）。

Program Partner Sustainable Living Lab



■ Sustainable Living Lab (略称: SL2) 概要

SL2 is a consultancy which facilitates innovation activities for the 3P (Public, Private & People) sector that advance environmental, economic and social sustainability (defined by UN SDGs) in Asia.

(SL2は、**アジアにおいて環境・経済・社会の持続性を高める公共、企業、人々のイノベーション活動を加速させるコンサルティング機関**です)

Our mission is to create an influential network of Labs across Asia which have the ability to inspire government policy, transform business practices and harness the power of communities.

(我々のミッションは、**アジアにある、政策に刺激を与えたり、ビジネスの現場を変革したり、コミュニティの力を活かす力を持った組織をつなぎ、影響力あるネットワークを構築**することです)

Founded in Singapore, we also maintain offices in India and Indonesia.

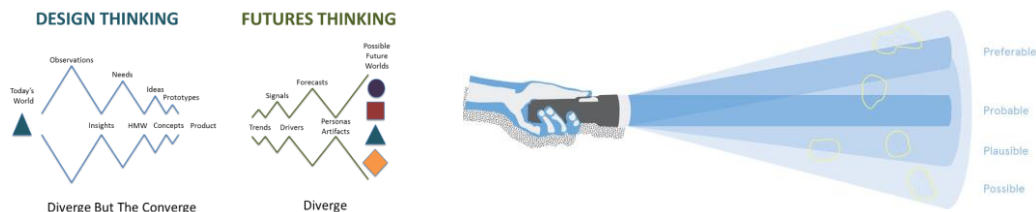
(**シンガポール**で設立し、**インドとインドネシア**にも拠点があります)

■ プロブレムステートメント

SL2が開発する**IoTツールのアジア展開戦略**を立案せよ。

■ ラーニングポイント

1. ビジネスの起点となる**生活者/地域/社会の困りごとから根源的ニーズを捉えなおすプロセス**を通じて、**バックキャストでアイディエーションするトレーニング**を積む
2. 社会的課題解決のためにビジネスを立ち上げている**ソーシャルリーダー達から、イノベティブリーダーシップの要諦(コンセプトメイキングや共創の技法等)**を学ぶ
3. 日本のみならず、**アジア全体の、しかも企業に止まらず政府や地域コミュニティにも目を向けるイノベーションのリーダー達との対話**を通じて、**広い視野と高い視座から、イノベーションの 이슈を捉える力**を養う



■ (補足) 使用言語

- **プログラムの進行は全て日本語**で行います。但し、プログラムパートナーであるSL2が登壇(オンライン)する際には、**SL2は英語で話し、ICMGのファシリテーターが日本語で要旨を説明**します。
- 従って、**英語力は不問**ですが、この機会に**グローバルのネットワークを広げたい、あるいは英語力を高めたい**、という方には、**SL2のメンバーと英語でやり取り(ディスカッションやメール等)**をして頂くことも可能です。

タイムスケジュール

(※内容等は変更になる可能性があります。予めご了承下さい)

	Kick Off Session		Middle Session	Final Session
	1/20 (木)	1/21 (金)	2/10 (木)	3/4 (金)
9:00				
10:00	【Invitation】	【Dialogue】 社会潮流とイノベーション× リーダーシップ	【Lecture】 エレベーターピッチ	【Pitch】 ファイナルピッチ
11:00	Self & Company Introduction		Peer Sharing & 相互フィードバック	
12:00	【Lecture】 イノベーション×リーダーシップ			
13:00				
14:00	【Introduction】 共創パートナー & IoT	【Lecture】 Future Thinking Session	【Lecture】 Scenario Planning Session	【Prize】 相互FBと振り返り
15:00	【Dialogue】 チャレンジ・ステートメント & プロブレム・アイディエーション	【Discussion】 チーム・ブレイク	【Discussion】 チーム・ブレイク	【Speech】 リーダーシップ・ジャーニー
16:00		Present Action Plan (15mins / team)		
17:00				

チャレンジステートメント提供者



Aaqib Alvi (Sustainable Living Lab Singapore Country Manager)

シンガポール国立大学卒。

持続可能な社会のためのAIのテクノロジーと教育に関する分野で、起業を含めた豊かな経験を持つ。現在はSustainable Living Lab SingaporeのCountry Managerとして、多くの企業やNPOと連携している。

実施実績 (2017~2020年度)

実施回数・参加人数： 計13回・約210名

業種： SIer、総合商社、総合電機、不動産、通信、物流、鉄道、電力、印刷、サービス、NPO 他

募集要項・お申込み

対象	社内外のプレイヤーを巻き込んでビジネスを共創することが期待されるミドルリーダー (事業部門、事業開発部門、経営企画部門等で将来のビジネスのリーディングを期待される課長前後層)
形式	Zoomによるオンライン開催
受講料	一社(4名) 96万円(税抜) ※受講料は12月末締め、1月末払いにてご請求します
お申込み	他流試合ワークショップ事務局 (ご質問等、お気軽にお問い合わせ下さい) TEL:03-6812-2518 (担当: 田中/白川) Mail: info_taryu@icmg.co.jp
特記事項	参加条件: プログラム開始後の途中での受講者の変更は不可 キャンセル規定: 30~10営業日前=50% 9営業日前~当日=100% 催行中止・免責事項: 最低催行人員12名 天災地変や疫病等の当社管理外の事由による内容の変更・中止には、責任を負いません 個人情報の取り扱い: お預かりする個人情報は、当社の個人情報保護方針に沿って運用致します 機密保持: 本プログラムで開示する情報の範囲は、受講者各自の判断に拠るものとします